



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

# The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA

スポンサー 大阪クラブ DBC 近江八幡クラブ 広島クラブ

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

## 主題・スローガン

- 西宮クラブ会長 「楽しく充実した活動」 浅野純一
- Yサ・ユース 「次世代に向けてYウイズ・Y YMCA・Yユースが相互に、  
事業主査 Wウィン・Wウィン・Wウィンで立場持ち場を越えて支え合おう」 小野勅紘
- 六甲部部长 「YMCA とのさらなる協働を目指して」 井出 浩
- 西日本区理事 「未来に灯そう希望の光り」  
「互いに認め合おう 世界の友と」 深谷 聡
- アジア会長 「変革のための光となろう」  
「親睦を通して、輝き、力を得よう」 利根川恵子
- 国際会長 「輝かそう、あなたの光を」 ウルリック・ラウリドセン  
「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」

2023年  
9月  
905号  
(77期3号)



## 9月 西日本区強調活動 EMC YES

メンバーと入会候補ゲストのために魅力ある例会を開催しましょう。  
YESはウイズ拡張サポートです。理解を深め献金に繋げましょう。

大森夏彦 EMC 事業主任 (京都パレス)

## 西宮ウイズメンズクラブ 9月第一例会

- 日時：9月15日(金) 19:00~20:30  
場所：西宮 YMCA 3階会議室  
ドライバ：重村仁メン・浅野純一メン
1. 開会点鐘・挨拶 会長 浅野 純一
  2. ウイズソング 一同
  3. 聖句朗読 馬場 一郎
  4. 食前感謝 森川 俊介
  5. ゲスト紹介 会長 浅野 純一
  6. 会食 一同
  7. 部長スピーチ 六甲部長 井出 浩氏
  8. スピーチ 足立 康幸  
「相続税について」
  9. ウイズニュース
  10. YMCAニュース
  11. 閉会点鐘 会長 浅野 純一

## HAPPY BIRTHDAY / SEPTEMBER

- 1日 岩田 健司メン
- 6日 丸山 美巴メネット
- 17日 宮地 京子特別メネット
- 21日 岡田 佑一郎メン

## 今月の聖句

人を裁くな。そうすれば、あなたがたも裁かれることがない。人を罪人だと決めるな。そうすれば、あなたがたも罪人だと決められることがない。赦しなさい。そうすれば、あなたがたも赦される。与えなさい。そうすれば、あなたがたにも与えられる。押し入れ、掃すり入れ、あふれるほどに量りをよくして、ふところに入れてもらえる。あなたがたは自分の量る秤で量り返されるからである。

ルカによる福音書第6章37~38節 馬場一郎選

## 8月出席状況 (在籍会員数 21名)

第一例会 (5土)		第二例会 (25金)	
メン	10名	メン	13名
メネット	0名	メネット	0名
ゲスト	0名	ゲスト	0名
MU	6名	計	13名
合計	16名	出席率	76.2%

ファンド	8月	累計
ニコニコ	¥ 0	¥3,000
BF	¥ 0	¥4,200

会長 浅野 純一 直前会長 濱 浩一 副会長(次期会長) 濱崎 進一 副会長 足立 康幸  
 書記 山口 吉郎, 小野 勅紘 会計 濱崎 進一, 重村 仁 監事 阪根 新, 丸山 悦治 担当主事 森川 俊介  
 Yサユース事業主査 小野 勅紘 組織検討安全対策委員 山口 吉郎 次期六甲部長 小野 勅紘

# 会長メッセージ

会長 浅野 純一

夏休み中、学童保育を担当されるYMCAのスタッフの方々は大変忙しくされていたと思います。こどもたちは夏休みを通して成長します。最近は夏休みを学童保育で過ごすこどもたちが多くなり、ますますその社会的役割が増大しています。また、私は4才の孫を預かる機会が多いのですが、改めて子育ての大変さを感じています。学童保育、保育園のスタッフの方々のお仕事に敬意を表します。



さて、9月が始まりました。今から丁度100年前の大正12(1923)年9月1日、関東地方は日本海を通過する台風に向かって朝から強い南風が吹いていました。その日は山本権兵衛内閣が発足する予定で、首相官邸の玄関前には新聞各社のテントが建てられていました。

その日は土曜日でした。お昼12時が近づくにつれて、半ドンの職場では仕事の後片付けが、家庭ではお昼の食事の準備が始まっていました。その午前11時58分、相模湾を震源とするM7.9の大きな地震が起きました。関東大震災です。各所で火災が発生しました。火の手は強風にあおられ瞬く間に広がり、東京市、横浜市などが廃墟と化しました。死者・行方不明者は約10万5千人で、そのうち9万人は火による犠牲者です。なかでも両国の陸軍被服廠(軍服製造所)跡の空地に避難した約3万8,000人が家財道具や着衣に延焼した猛火で焼死しました。阪神淡路大震災では直下型地震の揺れによる建物の崩壊で、また東日本大震災では津波によって多くの犠牲者が多く出ました。それが関東大震災では火によってです。

ニュースは海外にも大きく伝えられました。このような事態においてでも冷静に行動し、お互いが助け合って生きる日本人の姿は海外から称賛され、世界40以上の国から救援物資・義援金が寄せられました。阪神淡路大震災、東日本大震災でみられた光景が100年前にもあったのです。

その一方で残念なこともありました。「富士山大爆発」、「朝鮮人暴動」などの流言飛語が飛び交いました。内務省や軍部は流言飛語の取締りに努めましたが、デマを信じた自警団などによって多数の朝鮮人、また朝鮮人と間違われた中国人、日本人が殺害されました。犠牲者数は不明ですが、内務省の調査では231名です。

当時のマスメディアは新聞だけで、その新聞の一部が噂を煽り立てました。内務省は二度とこのような不幸な事態を起こしてはならないと、1920年11月にアメリカで世界初の公共放送を開始したラジオ放送の開局を急がせて、震災から約1年半後の大正14(1925)年3月22日、日本初のラジオ放送(JOAK・現NHK東京)が開始されました。

「天災は忘れたころにやってくる」これは物理学者の寺田虎彦(1878~1935)の警句です。寺田は自然災害を調査し、関東大震災の調査にもあたりました。先の言葉は文章として残されていませんが、弟子たちによって伝えられました。私たちは阪神淡路大震災に遭いました。それから早くも30年近い月日が経ちました。あの日のことは忘れようとしても忘れることはできません。しかし、自然災害、またパンデミックは人の心の隙間について襲ってきます。警戒を怠らないようにしなければなりません。

## 8月例会報告 六甲部合同納涼懇親会

山口 吉郎

時：2023年8月5日(土)15時~17時

所：ニューミュンヘン神戸大使館 7F

8月例会は芦屋クラブとの合同で納涼例会をホテルやレストランで行なうことが多いですが、今年は



六甲部で合同納涼懇親会が開催されるので合流させていただきました。会場は三宮のニューミュンヘン神戸大使館。フロア貸切で行なわれました。

井出部長の開会挨拶、井上総主事

# YMCA ニュース

担当主事 森川 俊介

今年もまた猛暑という言葉どおりの暑い夏となりました。西宮 YMCA に関わる子どもたちも1か月以上の夏休みが終わり、学校での生活が始まり、また日常が戻ってきました。

さて、育成センターでは、夏休み期間朝8時から一日の長時間の保育でしたが、今年も予定していたプログラムをすべて無事行うことができました。今年はコロナ以前に行っていたキャンプの取組みへのステップとして3つの小学校の育成センターごとにデイキャンプを実施することができました。自然体験の少ない子どもたちは火起こし・川遊びなど非日常の体験をしました。

また、他の行事や自分のやりたい遊びを時間をかけて行うことを通して、こどもたちはたくさんの「経験」ができたのではないかと考えています。「なにをしたか」も大事ですがそれ以上に大事なことは、〇〇をして「どう感じたか」「どう考えたか」「どう動いたか」が大事なことだと思います。違う意見がでたらお互いの意見をききながらまとめたり、友達と一緒にチャレンジしたことや失敗しながらもあきらめなかったこと、また他にやりたいことができて最後までやりきることなどその「過程」を大事に行いました。この夏で子どもたちは「体験」したことから多くの学びを得、その時の気持ちが子どもたちの心の成長につながると信じています。

2 学期は小学校など多くの行事があります。子ども一人ひとりの気持ちに寄り添いながら見守っていきたいと思います。

の祝辞、森ワイズ（神戸クラブ）の食前感謝に続き、鵜丹谷次期西日本区理事の乾杯でいよいよ納涼懇親会が始まりました。次々と美味しい料理が出され、飲み放題のお酒で一気に懇親会が盛り上がりました。猛暑に頂く生ビールは最高でした。クラブ紹介、大野勉ワイズの音楽タイム、アピールタイムと進行し、最後に主催者である柏原佳子国際交流事業主査の挨拶で閉会となりました。解散後は、有志が各々二次会に繰り出したクラブがあったようです。

出席は、浅野、岩田、小野、濱崎馬場貴英、丸山、万本、森川、山口、山本各ワイズ10名でした。



今後の予定

1. 市が原わいわいハイキング 2023 年度神戸  
YMCA 第 1 回 YYY フォーラム

日程：9 月 23 日（土）9：00～11：30

場所：市ヶ原

2. こどもカーニバル

日程：10 月 28 日（土）

第 1 部 9:30～11:00 第 2 部 11:30～13:00

場所：西宮 YMCA・西宮 YMCA 保育園

## 寄稿(二つの中国)

浅野 純一

◇中国の台湾への進攻が懸念されています。

「二つの中国」が形成された過程を見てみます。

第二次世界大戦前の中国(中華民国)では、蒋介石(1887～1975)が率いる国民政府(国民党政権)が東北三省(遼寧省・吉林省・黒竜江省)を除いて、ほぼ全国を掌握しました(1928 年)。

この後、東北三省と内モンゴル、熱河省に日本の傀儡政権である満州国が成立します(1932 年)。蒋介石ですが「国民党の敵は、まずは日本よりも共産党である」と発言しました。

国民党は孫文(1866～1925)によって共産党と協力関係を結んでいました(第一次国共合作)。しかし、孫文死後、国民党の指導者となった蒋介石は共産党を攻撃し(1927 年 4 月)、両者は敵対するようになります。

長城以北の満州を支配していたのは張作霖(1875～1928)ですが爆殺されます(1928 年、日本の関東軍の手によるとされますが真相は明らかではありません)。子の張学良(1901～2001)は国民党に合流し日本と戦い満州を支配することを目論みますが、日本の関東軍に阻まれ下野します。張学良は蒋介石の指揮下で共産党と戦いますが、共産党と接触するなかで、国民政府は共産党と統一して抗日すべきに転じます。

張学良は西安(古くは長安と呼ばれる)で国民政府軍の副総司令に就いていましたが、当地を訪れた蒋介石を拉致監禁します(西安事件 1936 年 12 月)。張学良は蒋介石に共産党と提携して抗

日戦線の結成を迫ります。渋る蒋介石に妻の宋美齡(1901～2003)が西安に駆け付けて説得に当たります。蒋介石は折れました。その結果、第二次国共合作が成立します。当時日本では事件を「蒋介石氏行方不明」と大きく報じられましたが、真相はまったくわかっていませんでした。戦後になって、それは日本の運命を大きく変えた事件とわかりました。以後、国民政府軍は共産党軍とともに日本と戦います。共産党と提携する蒋介石(重慶政権)に反対したのが汪兆銘(1883～1944)で、南京に親日政権が打ち立てられ、上海・南京などを統治しました(1940 年)。中国に二つの国民党政権が生まれたのです。蒋介石政権はアメリカとの結びつきを強めます。妻の宋美齡は日中戦争の真ただ中の 1941 年、アメリカにパンダ 2 頭を送りました。初めての「パンダ外交」です。宋美齡は大財閥宗家の 3 姉妹の末娘で、若き頃アメリカに留学しアメリカの社交界にも出入りし、ルーズベルト大統領一家との交流もありました。結果的に彼女は日中戦争に大きな影響を与えた存在になりました。

1945 年 8 月、日本軍は大戦で敗れました。中国でも武装解除をして撤退します。それと同時に、国民党と共産党の間での内戦(国共内戦)が再び始まりました。アメリカの仲介で幾度か停戦が合意されますが、その都度、共産党側は合意を無視して国民政府軍を攻撃します。

ソ連のスターリンは共産党の毛沢東を嫌っており、毛沢東にとっては決して有利な状況ではありませんでした。しかし、1946 年になると共産党軍はソ連軍撤退後の満州を支配するようになります。満州は日本によって大規模な工業投資が行われ、中国重工業の 70%を占めていました。共産党は満州を拠点に軍事力を固めていきます。満州では地主から土地を取り上げ貧しい農民に与えて巧みに人心を掌握していきます。一方の国民政府は南京を拠点に新たに出発します。国民政府は自由主義経済の原則を採り入れ、経済政策の中心となる行政委員長に宋子文(宋家の長子)が就任します。しかし、経済の自由化は貿易赤字をもたらしたうえに、競争力のない国内産業は大きな打撃を受けました。日本から接

収した企業資産の運営で官僚の腐敗があり、さらに、異常なインフレをも発生させて国民の信頼を失わせていきます。

1946年1月、内戦の停止を促すために、マーシャル陸軍参謀総長(後の国務長官)が中国を訪れます。この頃、ヨーロッパでは冷戦構造が固まっていき、中国では国共の内戦は増々激しくなっています。ソ連が武装解除した満州の日本軍兵器を共産党軍(人民解放軍と改称)に供給したことで、人民解放軍は国民党軍より優勢になっていきます。さらに、人民解放軍は余力がありました。日本と戦ったのは国民政府軍で共産党軍は兵力を温存していました。毛沢東は日本との戦いでは「敵が前進してきたら退くこと」を方針にしており国民政府軍に日本と戦わせました。共産党軍はゲリラ的な戦いを少し行った程度です。

国民党側の敗戦を決定的にしたのは、アメリカ政府の対応です。政権の経済政策の失敗については前述しましたが、政権を支えたのが宋美齡の実兄の宗子文(1894~1971)と3姉妹の長女の宋霽齡(あいいい 1889~1973)の嫁ぎ先の孔家です。宗家と孔家という二つの大財閥の支配にアメリカの民主党のトルーマン政権は良い印象を持ちませんでした。トルーマン政権は、わが国の占領政策で財閥解体や農地改革を行いました。それをみてもわかるように、蒋介石政権の非民主的なところを嫌います。さらに、マーシャル特使が毛沢東の共産党政権の本質を理解していなかったことです。マーシャルはマーシャル・プラン(戦後のヨーロッパの復興計画を主導)で有名で、この功績でノーベル平和賞を受賞した人物です。1945年12月、マーシャルと共産党の周恩来と最初の会談が行なわれます。周恩来は「中国共産党はアメリカ式の民主主義を強く望んでおり、毛沢東はソ連よりもアメリカを好んでいる」と言いました。マーシャルは、1920年代、中国で軍務についており、その時に蒋介石一派の汚職をみており、良い印象を持っていませんでした。その点、共産党には汚職を感じるものがなく、悪くは思っていなかったところに周恩来からの言葉です。マーシャルは

トルーマン大統領に「国民党より共産党の方が協力的である」と報告しています。毛沢東と周恩来は巧妙な手口でアメリカを欺きました。

1946年5月末、蒋介石軍が共産党の本拠地である延安の攻撃に成功し、共産党軍が旧満州へ敗走するとき、マーシャルは蒋介石に攻撃の停止を求めます。攻撃するならばアメリカは援助しないと書状を送りました。蒋介石は15日間の戦闘停止に応じますが、のちに敵の人民解放軍指導者の林彪(りんぴょう)は「これは蒋介石の犯した重大な失敗」とまで言っています。このときに攻撃したならば、毛沢東の最後の砦であったハルビンを放棄して、少なくともソ連と中国共産党軍の連携は崩壊したはずだと言っています。チャーチル前英首相は、1946年3月「鉄のカーテン演説」を行いました。アメリカ政府は1947年3月になって共産主義勢力の「封じ込め政策」に向かいます。しかし、封じ込めはヨーロッパのことで手が一杯で、蒋介石への冷たい態度は変わりませんでした。

1948年になると、国民政府軍の劣勢は否めなくなります。蒋介石は1948年12月、台湾に逃げます。中国本土で共産党軍に抵抗を続ける軍人も多くいましたが、共産党軍(人民解放軍と改称)は攻勢を強め、天津から北京に、そして、南京に入城します(1949.4.27)。内戦の帰趨は共産党の勝利で、1949年10月1日、毛沢東は北京の天安門広場で「中華人民共和国」の建国宣言を行いました。北京に首都を置き、国家主席に毛沢東、首相に周恩来が就任しました。国民政府軍は、福建省や浙江省の沖合の島に防御基地を築き抵抗を続けましたが戦場はそこまで留まります。台湾は戦火にさらされることはなく、最終的に台北市を中華民國の臨時首都としました。人民解放軍は、当初、台湾への侵攻を計画したものの、1950年6月、朝鮮戦争が勃発したために兵力を朝鮮に割かざるを得なくなり、台湾への侵攻は行われませんでした。一方のアメリカは、朝鮮戦争の勃発によって、台湾を「反共の砦」として、蒋介石政権を援助することに転じます。冷戦状態が深まるなか、二つの中国が常態化します。

第二次世界大戦後の 1950 年代、アメリカは  
 一国で世界のGDPの約 50%を占めました。経  
 済・軍事両面で世界を圧倒し、国際社会のリー  
 ダーとなりました。しかし、それは国際社会で  
 大きな責任を負うことにもなりました。そのア  
 メリカですが、中国政治に関しては、アメリカ  
 指導部の対処の仕方が中国の人びとに大きな不  
 幸をもたらしました。毛沢東の政策(大躍進政策  
 や文化大革命)で数千万の人びとが命を落とした  
 のです。現代の中国は経済が発展し人々の生活  
 は随分と改善されたといわれますが、人々は共  
 産党の独裁政治をどのように思っているのでし  
 ょうか。中国の国土面積は日本の約 20 倍ですが、  
 その 11%でしか土地利用ができません。日本の  
 約 11 倍の 13 億人の人口を抱えるその国が海外  
 に進出することは必至のことです。台湾のこ  
 とが本当に気になります。

※ 宗家の 3 姉妹の次女の宋慶齡(1893~1981)は孫文  
 の妻です。孫文の秘書となり、革命に失敗した孫文に  
 従って日本に亡命し、京都で結婚しました(1915 年)。  
 孫文死後(1925 年)、国民党左派に属し、孫文の掲げ  
 る「連ソ・容共・労農扶助」を掲げ抗日統一戦線を主  
 導しました。戦後は中華人民共和国副主席となり、死  
 の直前に名誉主席の称号を与えられました。

## ワイズニュース

【今後の予定】

- 9月1日(金) 六甲部メネット委員会
- 9月8日(金) 特別例会 甲子園球場野球観戦 DBC
- 9月15日(金) 第一例会
- 9月16日(土) 山口政紀さんを偲ぶ会 賀川記念館
- 9月16日(土) 鱧の会 三宮好富
- 9月22日(金) 第二例会
- 9月23日(土) YYY フォーラム
- 9月30日(土) 六甲部部会 神戸倶楽部
- 10月7日(土) 六甲部ローンボウルズ大会
- 10月上旬 ジャがいもファン
- 10月28日(土) 西宮カーニバル

**山口政紀さんを偲ぶ会**

時 9月16日(土)  
 場所 賀川記念館  
 時間 14:00-15:30  
 受付 13:30~

一部：礼拝  
 二部：思い出のとき

**鱧の会**

時 9月16日(土)  
 場所 三宮 好富  
 時間 17:00~

### 編集後記

ブリテン委員 山口 吉郎

★7 回目のコロナワクチン接種券が送られてきまし  
 た。年末年始の流行への対策のようです。6 月に接  
 種したところですがまた受けます ★9 月はいろい  
 ろな行事が目白押し。甲子園での阪神・広島観戦特  
 別例会(DBC)を皮切りにほぼ毎週イベントがありま  
 す。まだまだ暑い日が続きそうですが負けずに多数  
 のご参加を！ ★浅野会長に中国に関する大作を寄  
 稿いただきました。難しい漢字が並びますが、じっ  
 くりとお読みください。



センリョウ